

# 5.3

## Bright Pattern Documentation

Generated: 5/14/2021 4:35 am

Content is available under license unless otherwise noted.

# Table of Contents

Table of Contents	2
コンタクトのインポート & エクスポート	3
コンタクトのインポート & エクスポートタブ	3
インポート	3
名前とソースタブ	4
データソース	4
アップロード	4
FTP または SFTP	4
ユーザー名	4
パスワード	4
リストフォーマット	4
フォーマットオプションタブ	4
ファイル入力エンコード	5
最初の行はフィールド名が含まれています	5
入力ファイルエンコード	5
フィールド区切りオプション	5
フィールドタブ	5
選択されたフィールド	6
マップ先	6
新しいリストフォーマットを名前を付けて保存	6
結果タブ	6
エクスポート	7
全てのコンタクト	7
変更日	8
削除	8
名前とソースタブ	8
データソース	8
アップロード	8
FTP または SFTP	8
ユーザー名	8
パスワード	9
リストフォーマット	9
フォーマットオプションタブ	9
ファイル入力エンコード	9
最初の行はフィールド名が含まれています	9
入力ファイルエンコード	9
フィールド区切りオプション	9
フィールドタブ	10
選択されたフィールド	10
マップ先	10
結果タブ	10
ログタブ	11
日付	12
ユーザー	12
操作タイプ	12
ファイル	12
行数	12
追加件数	12
変更件数	12
削除件数	13
エラー件数	13
備考	13

# コンタクトのインポート & エクスポート

コンタクトのインポート&エクスポートは、エージェントデスクトップで使用するためにコンタクトを一括インポート、エクスポート、および削除できる場所です。このセクションは、エージェントデスクトップの[レコードの検索 & プレビュー](#)画面から **コンタクトの一括エクスポート/インポート** 機能を置き換え・削除します。



コンタクトのインポート & エクスポート

## コンタクトのインポート& エクスポートタブ

コンタクトのインポート& エクスポートタブでは、コンタクトの一括インポート、エクスポート、削除を開始できます。また、現在データベースにあるコンタクトの合計件数がここに一覧表示されます。

### インポート

インポートオプションを使うと、インポートダイアログウィンドウを通じてコンタクトを一括アップロードできます。



## インポートダイアログウィンドウ

### 名前とソースタブ

#### データソース

データソースでは、以下のオプションが選択できます。

#### アップロード

このオプションを使用すると、.TXTまたは.CSVファイルがアップロードできます。

#### FTP または SFTP

このオプションでは、FTPまたはSFTPを選択でき、アクセスURLを入力できます。

#### ユーザー名

FTPまたはSFTPサイトのユーザー名を意味します。

#### パスワード

FTPまたはSFTPサイトのパスワードを意味します。

#### リストフォーマット

以前にリストフォーマットを保存した場合は、コンタクトをこのフォーマットでインポートできます。

### フォーマットオプションタブ

フォーマットオプションタブでは、インポートするレコードのフォーマットをカスタマイズできます。



## インポートフォーマットオプションタブ

### ファイル入力エンコード

最初の行はフィールド名が含まれています

有効にされたこのチェックボックスはアップロードの最初の行をコンタクトフィールド名として認識します。

### 入力ファイルエンコード

このオプションではインポートファイルのエンコードを選択できます。ドロップダウンメニューからエンコードタイプを選択します。

### フィールド区切りオプション

フィールド区切りオプションは以下の通りです：カンマ、タブ、セミコロン及びカスタムです。

## フィールドタブ

フィールドセクターは、インポートソースのフィールドをコンタクトおよび会社オブジェクトのフィールドにマッピングします。インポートソースに現在データベースで認識されているフィールドが含まれていないとき、このセクターを使用すると、必要に応じてその都度マッピングが可能です。フィールドマップでフィールドを選択すると、次の情報が表示されます。



## インポートフィールドタブ

### 選択されたフィールド

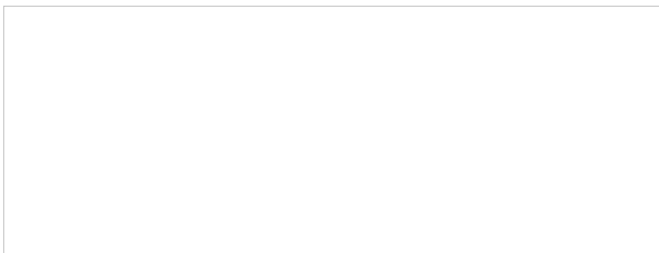
選択されたフィールドを意味します。

### マップ先

マップ先のメニューには、選択されたフィールドが現在マップされている場所が表示されます。フィールドのマップ先を変更するには、メニューから新しいフィールドを選択します。

### 新しいリストフォーマットを名前を付けて保存

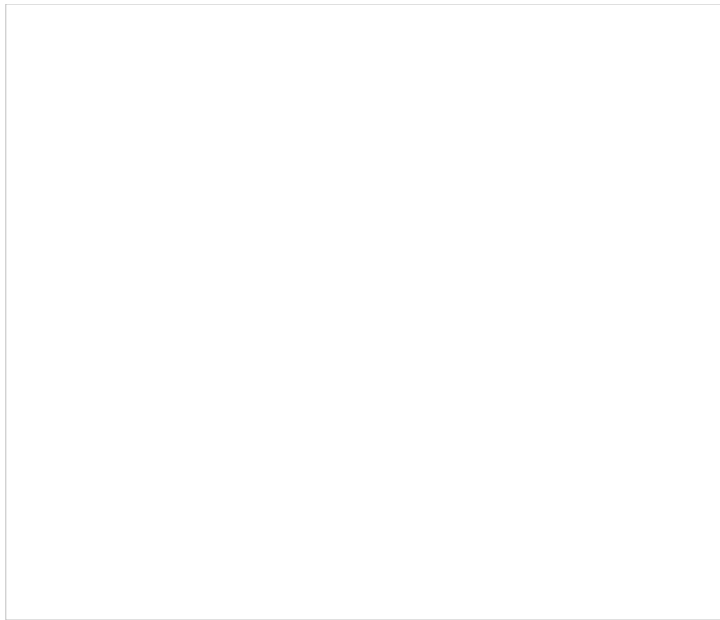
インポートフィールドのマッピング後、*新しいリストフォーマットを名前を付けて保存*というダイアログウィンドウが表示されます。ここより、このインポートを新しいフォーマットリストとして保存できます。新しいリストフォーマットを保存しない場合でも、インポートには影響がありません。



新しいリストフォーマットをダイアログウィンドウとして保存

## 結果タブ

結果タブには、インポート試行の結果が以下のように表示されます。



### インポート結果タブ

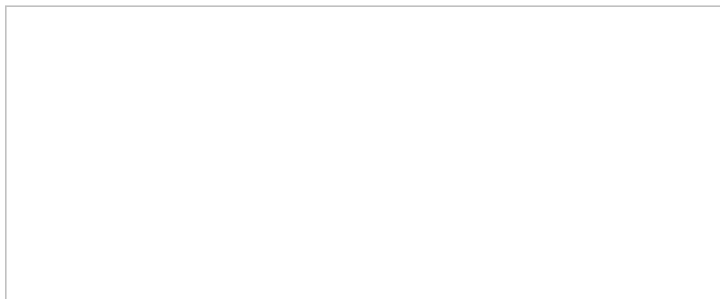
- 読み取られたレコード - 読み取られたレコードの件数
- 作成されたコンタクト - 作成されたコンタクトの件数
- 更新されたコンタクト - 更新されたコンタクトの件数
- 作成された会社 - 作成された会社の件数
- 検出されたエラー - インポート中に検出されたエラーの件数

ご注意: インポート中にエラーが発生した場合、エラーをリストにした.CSVファイルがダウンロードできます。

### エクスポート

エクスポートを使用すると、データベースからコンタクトを以下の2つの方法でエクスポートできます。その方法とは、**全てのコンタクト**または **変更日**です。

エクスポートを選択することによって、現在のコンタクトと会社関連フィールドに該当するテンプレートをダウンロードできます。



### エクスポートダイアログウィンドウ

### 全てのコンタクト

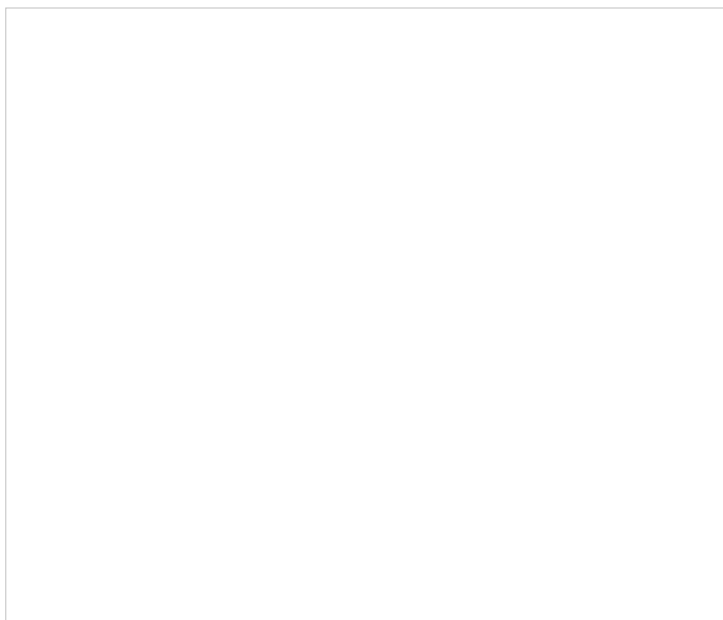
全てのコンタクトを選択すると、データベース内の全てのコンタクトがエクスポートされます。

## 変更日

変更日を選択すると、設定日以降に変更されたコンタクトをエクスポートできます。カレンダーで日付を選択できます。

## 削除

削除オプションを使うことによって、インポートと同じようなダイアログウィンドウを通じて、データベースからコンタクトを一括削除できます。名前とソース、フォーマットオプション、結果タブは、インポートダイアログのタブと同じです。ただし、フィールドタブでは、.CSVファイルのコンタクトとデータベースのコンタクトの照合方法が指定できます。また、コンタクトを削除するとき、他のオブジェクトを削除または更新することができます。



削除ダイアログウィンドウ

## 名前とソースタブ

### データソース

データソースでは、以下のオプションが選択できます。

### アップロード

このオプションを使用すると、削除するレコードが含まれる.TXTまたは.CSVファイルをアップロードできます。

### FTP または SFTP

このオプションでは、FTPまたはSFTPを選択でき、アクセスURLを入力できます。

### ユーザー名



FTPまたはSFTPサイトのユーザー名を意味します。

パスワード

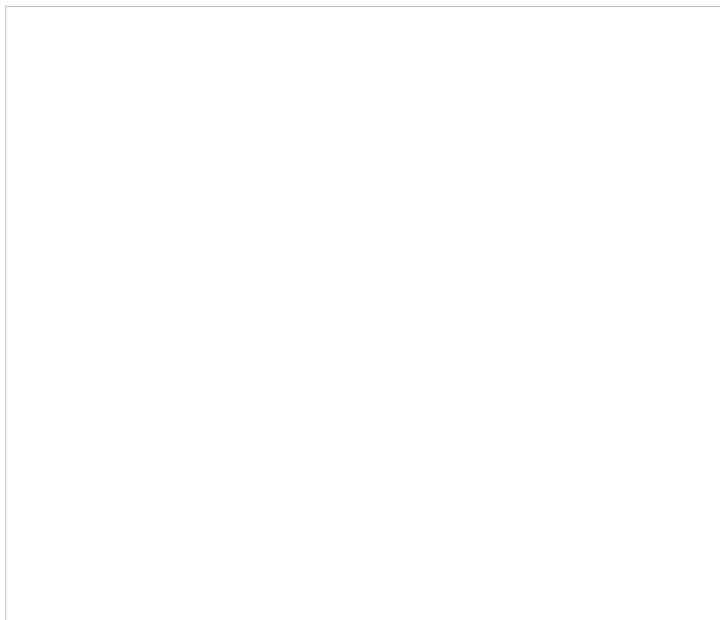
FTPまたはSFTPサイトのパスワードを意味します。

リストフォーマット

以前にリストフォーマットを保存した場合は、このフォーマットのコンタクトを削除するために選択できます。

## フォーマットオプションタブ

フォーマットオプションタブでは、削除するレコードのフォーマットをカスタマイズできます。



## 削除フォーマットオプションタブ

### ファイル入力エンコード

最初の行はフィールド名が含まれています

有効にされたこのチェックボックスはアップロードの最初の行をコンタクトフィールド名として認識します。

### 入力ファイルエンコード

このオプションでは削除ファイルのエンコードを選択できます。ドロップダウンメニューからエンコードタイプを選択します。

### フィールド区切りオプション

フィールド区切りオプションは以下の通りです：カンマ、タブ、セミコロン及びカスタムです。

## フィールドタブ

フィールドタブでは、.CSVファイルで削除対象としてマークされたコンタクトとデータベース内のコンタクトの照合方法が指定できます。また、コンタクトを削除するとき、他のオブジェクトを削除または更新することができます。



### 削除フィールドタブ

#### 選択されたフィールド

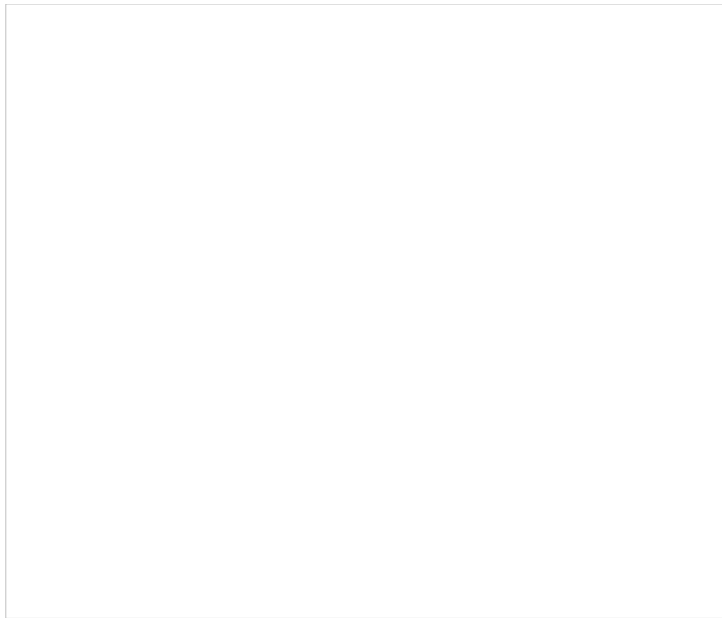
選択されたフィールドを意味します。

#### マップ先

マップ先のメニューには、選択されたフィールドが現在マップされている場所が表示されます。フィールドのマップ先を変更するには、メニューから新しいフィールドを選択します。

## 結果タブ

結果タブには、一括削除の結果が以下のように表示されます。



### 削除結果タブ

- 読み取られたレコード - 読み取られたレコードの件数
- 削除されたコンタクト - 削除されたコンタクトの件数
- 検出されたエラー - 削除中に検出されたエラーの件数

ご注意: 削除中にエラーが発生した場合、エラーをリストにした.CSVファイルがダウンロードできます。

### ログタブ

ログタブには、一括インポート、エクスポート、削除からの以下のデータが表示されます。

ログタブには、インポート、エクスポート、削除の記録が表示されます

## 日付

日付とは、操作が行われた日時を意味します。

## ユーザー

ユーザーとは、操作を実施したユーザーを意味します。

## 操作タイプ

操作タイプとは、操作のタイプを意味します; タイプはインポート, エクスポート, 削除です。

## ファイル

ファイルとは、インポートまたは削除ファイルの名前を意味します。

## 行数

行数とは、ファイルにおける行数を意味します。

## 追加件数

追加件数とは、データベースに追加された新しいコンタクト件数を意味します。

## 変更件数

変更件数とは、操作によって変更された既存コンタクトの件数を意味します。

## **削除件数**

*削除件数*とは、データベースから削除されたコンタクトの件数を意味します。

## **エラー件数**

*エラー件数*とは、情報不足または不適用のために追加、変更、削除できなかったレコード件数を意味します。

## **備考**

*備考*とは、操作に関連するコメントを入力するためのスペースです。